

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 5 月 8 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '駅からハイキング実施補助事務'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about '真壁のひなまつり' and '駅からハイキング'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 27-31 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (人件費) for 27-31 years.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business expenses) for 28 and 29 years, including a total row.

(4) 当該年度の実施内容

Table for 当該年度の実施内容 (Implementation content for the current year) with columns for 29, 30, and 31 years.

事務事業名	駅からハイキング実施補助事務	事務事業No.	40604000295	所属課	総合戦略室
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成24年度から、鉄道利用の促進や、来訪者による地域振興を図る事を目的として実施した。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から、バス停留所が真壁高上町駐車場へ変わり、乗客からは好評だった。</li> <li>バス料金が1000円から1500円に変更となり、料金が高いとの意見もあった。</li> <li>真壁の町並みを散策に来た観光客も多く、また雨引山や加波山への登山者も多い。週末だけでもバスを運行して欲しいとの意見が多く寄せられた。</li> </ul>
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	首都圏の主要駅にポスターを掲出することで効果があがると思われるが、コストがかかる。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input type="checkbox"/> 公共交通の利用促進による公共交通の活性化を目的としているので、政策体系の整合する。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input type="checkbox"/> 公共交通の活性化と地域振興を目的としており、妥当である。
効果性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input type="checkbox"/> 地域のイベントや観光資源を取り込んだ進め方は適切であると思われるが、周知方法の改善等によりさらなる集客（鉄道等利用者）の可能性はある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒
	<input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名   JR東日本水戸観光連盟参画事業 <input type="checkbox"/> 主担当である商工観光課が、十分な体制で対応すれば、問題なく実施できる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input type="checkbox"/> 予算はついていない。 必要最低限の人員で対応しており、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input type="checkbox"/> 最終的な目的が、公共交通の活性化という多くの市民に関係する課題であることから、適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																										
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	2月21日～3月3日の11日間に、駅からハイキングを開催し、また臨時バスを運行した。期間中の両日曜日が天候に恵まれなかったにもかかわらず、前年並みの利用者が確保できたことは、効果があったと考えられる。																										
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下							
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
イベントの開催については、JRとの共同によりパンフレット等へ掲載しているが、さらにポスター掲出のエリアを拡大したり、またバスを運行する関東鉄道との連携により周知をさらに推進する。 首都圏の主要駅にポスターを掲出することで効果があがると思われるが、コストがかかる。	(6) 事務事業優先度評価結果																										
	成果優先度評価結果																										
	コスト削減優先度評価結果																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） <input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>